

2015 年 1 月 15 日

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2014 年度（自 2013 年 10 月 1 日 至 2014 年 9 月 30 日）第 2 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2014 年 10 月 1 日（水）16：00～19：00
- ☐開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING（第 26 会場 ギャラクシー）
- ☐理事総数 20 名
- ☐監事総数 4 名
- ☐出席理事数 20 名
- ☐出席監事数 3 名
- ☐出席理事の氏名
北野正剛（理事長）、渡邊昌彦（副理事長）、岩崎昭憲、岩中 督、大貫恭正、小澤壯治、
黒川良望、坂井義治、塩田 充、堤 治、出沢 明、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪 誠、
万代恭嗣、松田公志、森 俊幸、森川利昭、山下裕一、若林 剛
- ☐出席監事の氏名
大橋秀一、木村泰三、松本純夫
- ☐出席幹事の氏名
佐々木章
- ☐議長の氏名
北野正剛
- ☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
- ☐議事の経過の要領及びその結果
以下の通りである。

＊

定刻に至り、北野正剛理事長より、理事会の定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が宣
され、若林剛会長より挨拶がなされた後、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。
2. 報告事項
 - 1) 編集委員会報告
 - (1) 日本内視鏡外科学会雑誌（北野正剛編集主幹）
 - ・投稿状況が報告された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery (北島政樹編集主幹代理として北野正剛理事長)

- ・活動報告がなされた。併せて、各エディターの担当論文数に偏りがあるため、早急に対策をとる予定である旨が述べられた。
- ・坂井義治理事より、査読依頼に応じない評議員がいる現況が報告され、会の運営に協力するのは評議員の義務である旨を社員総会にて注意喚起することとなった。応じない評議員への対応について、評議員の更新において考慮する等の対処を検討していくこととなった。
- ・8月発行予定だったASESの送付が、印刷遅延により3週間ほど遅れていたが、さらに制作側の不備も見つかったことから送付は10月後半から11月頭頃になることが報告された。
- ・英文化されたガイドラインおよびアンケート調査を掲載する予定であることが述べられた。

2) 総務委員会報告 (若林剛委員長)

- ・庶務報告 会員数 11,963 名 (2014 年 9 月 12 日現在)
- ・新規入会者数が増えていることが報告された。
- ・未納退会者が 346 名になることが報告された。

3) 教育委員会報告 (黒川良望委員長)

- ・第 19 回教育セミナーについて報告された。
- ・内視鏡下結紮・縫合手技講習会について、収支が黒字になっていることが報告された。
- ・新たに近畿腹腔鏡下胃切除セミナーが公認研究会として承認されたことが報告された。
- ・後援講習会について、2014 年度認定数が 67 件となったことが報告された。
- ・株式会社南江堂から「内視鏡下縫合・結紮手技トレーニング (DVD 付) [仮]」を出版したいとの依頼について、JSES 教育委員会が監修として携わるということで発行が承認された。

4) 保険委員会報告 (岩中督委員長)

- ・2016 年度の診療報酬改定要望アンケートの結果が報告され、要望が重複する学会とは今後調整していく旨が述べられた。

5) 規約委員会報告 (徳村弘実委員長)

- ・報告事項なし

6) 広報委員会報告 (出沢明委員長)

- ・NewsLetter 17 号発行が報告された。
- ・本学会ホームページでのお知らせおよびリンク掲載について、推薦評議員を必須としていることならびに最長 1 年の掲載期間をルールとして運用されていることが報告された。
- ・バナー広告について、これまでのコヴィディエンジャパン株式会社に加え、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社にも協賛いただけることとなった旨が報告された。

7) ガイドライン委員会報告 (坂井義治委員長)

- ・2014 年版のガイドラインが JSES 学会雑誌特別号として 2014 年 9 月に発行され、学会 HP の会員専用ページにその Web 版が掲載されたことが報告された。
- ・ガイドラインの英語版を制作し、ASES に 2015 年より掲載されることが報告された。

8) 第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・照会案件 1 件について回答したことが報告された。

9) 倫理・渉外委員会報告（堤治委員長）

- ・電動モルセレータの使用について報告された。

10) COI 委員会報告（森川利昭委員長）

- ・ロボット支援手術の研究に関する寄付について、COI 委員会としては、公的なデータベースを通じて登録し、試験結果の発表は論文の形で公開することを推奨することが報告された。
- ・各領域における寄付のあり方の整合性については、領域毎に取り組みが異なり、COI 委員会で統一させることは困難であることから、個別に COI に抵触しないように守ってもらえばよいことが確認された。JSES として各領域の寄付の状況を把握し顧問弁護士と連携して検討していくこととなった。

11) 医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・企業対学会で交渉できる（ただし、個別の案件には直接関わらず仲立ちに留めて中立性を維持する）ようにルールを作成することを目標としている旨が報告された。知財に関するポリシーや契約書ひな形をつくってスタンダードなルールを提示し、会員への医工連携に関する情報提供や PMDA との人材交流をはかっていくことが述べられた。
- ・総会における医工連携企画の事後調査の提案がなされ、承認された。
- ・医工学連携委員会が中心となり、第 28 回総会の医工連携企画を進めていくこと、その実行責任者は鈴木裕副委員長が務められることを提案し、承認された。
- ・自治体から連携をしたいと申し出があった旨が報告された。

12) 学術委員会報告（山下裕一委員長）

- ・内視鏡外科手術に関する第 12 回アンケート調査の結果が出たことが報告された。
- ・2013 年度申請の NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「腹腔鏡下胃切除術の安全性に関する検討—NCD による前向き調査研究」が進行中であることが報告された。日本胃癌学会にて同様の調査を後ろ向き研究で計画しているとのことで、話し合いをする予定である旨報告された。
- ・2014 年度 NCD データを利用した消化器外科領域新規研究課題「日本内視鏡外科学会技術認定制度における技術認定レベルのアウトカム評価」についても進められていることが報告された。

13) メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・2013 年に作成されたメディカルスタッフマニュアルの配布促進のため、関連団体へ配布案内文書を送付したこと、第 27 回総会に参加されるメディカルスタッフへ配布予定であることが報告された。
- ・およそ 3 年後（2017 年頃）の改定に向けて検討していることが報告された。

14) 技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・全領域の申請者総数が6,000名を超えたことおよび全領域の認定取得者が2,940名であることが報告された。
- ・JSESの認定期間と関連学会の認定期間にずれが生じていたが、ずれを解消する作業を行ったことが報告された。
- ・日本産科婦人科内視鏡学会にて認定研修施設制度が開始されたことが報告された。これは研修施設を設けてレベルを向上させる目的であり、専門医制度を見据える動きであることが補足された。技術認定のあり方に関係するため、学会として検討していく必要があることが確認された。
- ・山川達郎顧問の退任および岩崎昭憲委員の呼吸器外科領域の特任制度委員就任が報告された。
- ・消化器・一般外科領域の審査委員追加が承認された。
- ・泌尿器科領域および産科婦人科領域の技術認定新規・更新申請が承認された。
- ・技術審査委員名の公表について、各種意見が出され、技術認定制度委員会にて審議することとなった。

15) 専門医制度検討委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・報告事項なし

16) E ラーニング検討委員会報告（大貫恭正委員長）

- ・世川修委員が新たに委員として就任したことが報告された。

17) 将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・北野正剛理事長より提案があり、現行規則では2年3期となっている理事任期を2年4期とする案について今後検討していくこととなった。

18) ロボット支援手術検討委員会報告（橋爪誠担当理事）

- ・本年4月に産科婦人科領域における婦人科悪性腫瘍に対するロボット支援手術に関する指針について回答書を送付したこと、同年6月に日本産科婦人科学会より再検討された結果の連絡があったことおよびその内容が報告された。術者の基準が明確に見直されていることから、再検討された内容を本会として承認することとなった。
- ・先進医療B取得のための研究の進捗状況について報告された。胃領域について先進医療技術審査部会にて条件付きで承認され、2018年の保険収載を目指して進められている旨述べられた。泌尿器科領域については9月から臨床試験が進められており2016年の保険収載を目指す旨述べられた。呼吸器外科および食道領域についても検討が進められている旨報告された。

19) 第27回総会報告（若林剛会長）

- ・総会および第2回腹腔鏡下肝切除術国際コンセンサス会議の開催について報告された。
- ・医工連携企画を3日間にわたり行うことが本総会の特徴の一つであることが述べられた。
- ・3,213演題（9月24日現在）と最多の演題総数で、スケジュールが非常にタイトであることが報告された。
- ・市民向けの企画として、ダヴィンチや3Dなどを見ることができる企画や、高校生向けの企

画が用意されていることが述べられた。

20) 第 28 回総会報告 (松田公志次期会長)

- ・ 権雅憲教授はプログラム委員長として就任することが述べられた。
- ・ テーマは「技術革新と人の技の融合：内視鏡手術の飛躍にむけて」に決まったことが報告された。
- ・ 2015 年 12 月 10 日 (木) ～12 日 (土) に、大阪国際会議場およびリーガロイヤルホテルにて開催予定であることが報告された。
- ・ プログラムにおいて、ディベートや Expert Video Session を企画中であることが述べられた。

21) 第 29 回総会報告 (渡邊昌彦次々期会長)

- ・ 2016 年 12 月 8 日 (木) ～10 日 (土)、パシフィコ横浜にて開催する旨が報告された。

22) 第 30 回総会報告 (坂井義治次々々期会長)

- ・ 2017 年 12 月 7 日 (木) ～9 日 (土)、国立京都国際会館にて開催する旨が報告された。

23) 日本医学会等報告 (北野正剛理事長)

- ・ 日本医学会連合分科会 2014 年会費支払いについて確認された。
- ・ 肥満症外科治療に関する内科系、外科系関連学会合同委員会について報告された。
- ・ 本年の定時社員総会が 2014 年 12 月 9 日 (火) にステーションカンファレンス東京にて開催されることが改めて周知された。
- ・ 委員会運営を円滑に継続していくため、2 年毎に三分の一程度ずつ委員を交代していくこととなった。
- ・ WEB 会議の導入が報告され、利用は委員長の判断だが、遠方からの参加については WEB 会議利用を推奨すること、必要に応じてメール審議とすることが確認された。

3. 審議事項

1) 臨床研究の COI (利益相反) に関する指針運用規則改定の件

- ・ 第 8 条および第 9 条の改定について承認された。

2) 財務委員会 (小澤壯治委員長)

- ・ 学術集会収支および寄付について承認された。
- ・ 寄付金の算定方法について、今後は、税引き前剰余金より消費税、法人税を引いた額の半額として計算することが確認された。
- ・ 今後の総会では勘定項目を統一した、共通の会計報告フォーマットで会計資料を作成することが確認された。
- ・ 2015 年補正予算について承認された。

3) 評議員選考委員会 (塩田充委員長)

- ・ 評議員選考において、90 名の新評議員が承認された。
- ・ 名誉会長・名誉会員・特別会員選考において、名誉会長は 4 名、名誉会員は 2 名、2014 年特

別会員は6名、2013年特別会員は3名の推戴が承認された。

- ・評議員申請書について、手書きの申請書については受付不可とすることおよびフォントについても9p以上での記入を求めることが確認された。
- ・2015年の評議員選出基準として、共著でも筆頭でもよいので提出論文にASESとJSESの論文を1編以上含めることを優先とすることが承認された。ただし領域によって不利益とならないように選考する。毎年40～50名程度を目途に選考していくことが確認された。
- ・会員数の各領域の比率で評議員のバランスを決めていくのが望ましく、評議員の再任に関しても規定を検討していくべきとの意見が出された。
- ・今後、評議員選考に重きをおいていくことになるので、特別会員等の選考については総務委員会へ移管されることとなった。

4) 国際委員会（万代恭嗣委員長）

- ・国際名誉会員について、4名の候補者が報告され、Ralph V. Clayman先生（USA）、Pradeep Chowbey先生（India）の2名が推戴者として承認された。
- ・IFSES理事会議事録について、Secretary GeneralはMichael Li先生であったが、次回からDavide Lomanto先生となることが報告された。
- ・WCES 2014パリでのWorld Cupセッションは、猪股雅史氏（大分大学 医学部 消化器・小児外科学講座）が優勝したことが報告された。
- ・ACSビデオセッションについて日本から2演題が採用となったことが報告された。
- ・IFSES World Congressが2020年に日本で開催される方向であることが北野理事長より報告された。

5) 大上賞選考委員会（渡邊昌彦委員長）

- ・井上晴洋氏（昭和大学江東豊洲病院消化器センター）の受賞が承認された。

6) 出月賞選考委員会（森俊幸委員長）

- ・川崎恵理子氏（公益財団法人浅香山病院手術室）の受賞が承認された。

7) 役員の退任および就任の件

- ・万代恭嗣理事の退任および、渡邊聡明新理事就任が承認された。
- ・監事に万代恭嗣理事が就任することが承認された。

以上

■ 2014 年度 名誉会長・名誉会員・特別会員 推戴者

〈名誉会長〉

大橋 秀一（健保連大阪中央病院）

谷川 允彦（谷川記念病院）

白日 高歩（福西会病院）

東原 英二（杏林大学）

〈名誉会員〉

万代 恭嗣（東京山手メディカルセンター）

伊熊健一郎（谷川記念病院）

〈特別会員〉

池田 正仁（藤井政雄記念病院外科）

平田 公一（札幌医科大学）

加納 宣康（亀田総合病院外科）

三木 恒治（京都府立医科大学）

上西 紀夫（公立昭和病院）

村田 宣夫（帝京大学）

亀岡 信悟（東京女子医科大学）

山口 俊晴（がん研有明病院）

中尾 昭公（名古屋セントラル病院）

■ 2014 年度 新評議員

荒井 宏雅（横浜市立大学大学院医学研究科外科治療学）

木内 誠（宮城県立がんセンター）

池田 篤（佐野厚生総合病院）

木村 豊（市立堺病院）

池田 徳彦（東京医科大学呼吸器・甲状腺外科学分野）

久保 尚士（大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科）

石黒 要（公立能登総合病院外科）

倉島 庸（北海道大学病院）

伊藤 勝彦（成田赤十字病院）

五井 孝憲（福井大学第一外科）

稲葉 一樹（名古屋第二赤十字病院一般・消化器外科）

古賀 聡（飯塚病院）

稲嶺 進（医療法人おもと会大浜第一病院）

小杉 千弘（帝京大学ちば総合医療センター外科）

井ノ口幹人（東京医科歯科大学腫瘍外科学）

小柳 和夫（国立がん研究センター中央病院食道外科）

居村 暁（徳島大学病院）

小林 省吾（大阪大学大学院消化器外科学）

岩崎 善毅（東京都立駒込病院）

齊藤 博昭（鳥取大学医学部病態制御外科）

浦上 淳（川崎医科大学附属川崎病院総合外科）

佐々木貴浩（聖マリアンナ医科大学東横病院）

大井 正貴（三重大学医学部附属病院先端の外科技術開発学）

四万村三恵（日本大学医学部心臓血管・呼吸器・総合外科）

大木 岳志（東京女子医科大学消化器外科）

清水 公裕（群馬大学大学院臓器病態外科）

大塚 耕司（昭和大学医学部消化器・一般外科学教室）

庄 雅之（奈良県立医科大学消化器・総合外科）

岡野 圭一（香川大学消化器外科）

杉本 真樹（神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器科内科学分野）

小川 博臣（群馬大学医学部附属病院臓器病態外科）

須田 康一（藤田保健衛生大学上部消化管外科）

尾高 真（東京慈恵会医科大学附属病院）

須田 隆（藤田保健衛生大学心臓血管外科・呼吸器外科）

掛地 吉弘（神戸大学大学院外科学講座食道胃腸外科）

隅 健次（佐賀県医療センター好生館）

亀井 尚（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座先進外科分野）

高橋 直人（東京慈恵会医科大学附属柏病院外科）

亀井 英樹（久留米大学医療センター）

田中 聡也（佐賀県医療センター好生館）

川上 義行（福井赤十字病院）

谷口 雄司（鳥取大学医学部附属病院胸部外科）

川崎 篤史（東京ヘルニアセンター神楽坂 D.S. マイクリニック）

田畑 智丈（第一東和会病院）

北島 政幸（公財）東京都保健医療公社東部地域病院外科）

田村 昌也（福井県立病院）

北濱 誠一（明和病院）

辻仲 眞康（自治医科大学附属さいたま医療センター一般消化器外科）

寺島 雅典 (静岡県立静岡がんセンター胃外科)	三上 公治 (福岡大学筑紫病院外科)
永安 武 (長崎大学大学院医歯学総合研究科腫瘍外科)	三澤 一成 (愛知県がんセンター中央病院消化器外科)
鍋島 一仁 (東海大学医学部外科学系消化器外科)	宮澤 光男 (埼玉医科大学国際医療センター)
西澤 祐吏 (国立がん研究センター東病院)	茂木 晃 (群馬大学大学院病態総合外科学)
西澤 雄介 (埼玉県立がんセンター消化器外科)	本山 悟 (秋田大学医学部附属病院/大学院医学系研究科)
根上 直樹 (埼玉県済生会川口総合病院)	森川 孝則 (東北大学病院肝胆膵外科)
野中 隆 (長崎医療センター)	矢島 和人 (がん・感染症センター都立駒込病院)
橋口陽二郎 (帝京大学医学部外科学講座)	矢島 浩 (厚木市立病院)
橋本 竜哉 (福岡大学消化器外科)	八岡 利昌 (埼玉県立がんセンター消化器外科)
畑尾 史彦 (東京都立多摩総合医療センター外科)	山岸 茂樹 (一般財団法人温和会津中央病院)
樋口 亮太 (東京女子医科大学消化器外科)	山下 浩二 (日本医科大学付属病院乳腺外科)
蛭川 浩史 (立川総合病院)	山田 貴允 (神奈川県足柄上病院外科)
廣 純一郎 (三重大学医学部・消化管小児外科)	山本 聡 (福岡大学筑紫病院外科)
廣川 文鋭 (大阪医科大学一般・消化器外科)	湯浅 康弘 (徳島赤十字病院)
藤原 義之 (大阪府立成人病センター消化器外科)	吉川 幸造 (徳島大学消化器・移植外科)
古市 基彦 (日本大学医学部附属板橋病院)	吉川 貴己 (神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター)
松橋 延壽 (岐阜大学腫瘍外科(がん先端医療開発学講座))	吉田 寛 (日本医科大学多摩永山病院外科)
松原 寛知 (山梨大学医学部第二外科)	吉満 政義 (広島市立安佐市民病院)
松本 浩次 (板橋中央総合病院)	吉村 文博 (大阪赤十字病院外科)
松本 卓子 (埼玉県済生会栗橋病院呼吸器外科)	渡邊 聡明 (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科・血管外科)
山本 寛 (滋賀医科大学)	
丸山 聡 (新潟県立がんセンター新潟病院)	

※所属は評議員申請書提出時のものです。

2014 年度技術認定（泌尿器科領域）合格者

秋田 泰之（大分大学医学部附属病院）	高瀬 育和（富山市民病院）
秋濱 晋（秋田大学医学部附属病院）	滝沢 明利（秦野赤十字病院）
浅井 利大（大阪市立総合医療センター泌尿器科）	田上憲一郎（熊本大学医学部附属病院）
朝隈 純一（防衛医科大学校病院泌尿器科）	都筑 俊介（東京慈恵会医科大学附属柏病院）
荒木 元朗（岡山大学泌尿器病態学）	津村 功志（三井記念病院）
有地 直子（島根大学医学部泌尿器科）	東郷 容和（兵庫医科大学病院）
泉 和良（高松赤十字病院）	永原 啓（大阪大学大学院医学系研究科泌尿器科学）
磯谷 周治（帝京大学病院泌尿器科）	鍋島 義之（福岡徳洲会病院）
一松 啓介（市立砺波総合病院）	新田 正広（東海大学医学部付属病院）
乾 秀和（関西医科大学枚方病院腎泌尿器外科）	仁田有次郎（大阪市立総合医療センター）
井上 隆太（札幌医科大学泌尿器科）	貫井 昭徳（自治医科大学腎泌尿器外科学講座）
宇野 雅博（大垣市民病院）	野積 和義（横浜労災病院）
遠藤 文康（聖路加国際病院）	羽阪 友宏（大阪市立総合医療センター）
大関 孝之（近畿大学医学部附属病院泌尿器科）	蓮見 勝（群馬県立がんセンター）
大原 慎也（広島市立安佐市民病院）	林 秀樹（JA 徳島厚生連麻植協同病院）
大山 伸幸（福井大学医学部附属病院泌尿器科）	原田 二郎（大阪府済生会野江病院）
岡添 誉（KKR 高松病院）	引田 克弥（鳥取大学医学部附属病院）
岡本 雅之（関西労災病院）	深見 直彦（藤田保健衛生大学腎泌尿器外科）
奥木 宏延（館林厚生病院）	藤崎 雅史（修賢会藤崎病院）
柿木 寛明（佐賀大学医学部泌尿器科）	古林 伸紀（九州がんセンター）
笠原 隆（新潟大学医歯学総合病院）	本田 正史（鳥取大学医学部附属病院泌尿器科）
片岡 政雄（福島県立医科大学附属病院泌尿器科）	眞砂 俊彦（鳥取大学医学部附属病院泌尿器科）
金子 剛（川崎市立川崎病院）	増栄 成泰（大垣市民病院泌尿器科）
日下 守（藤田保健衛生大学腎泌尿器外科）	増本 弘史（国立病院機構東広島医療センター）
小松 集一（新潟県立新発田病院）	松尾 朋博（長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科）
小村 和正（大阪医科大学）	松本 洋明（山口大学医学部泌尿器科）
佐倉 雄馬（香川大学医学部附属病院）	水野 太起（順天堂大学附属浦安病院）
佐竹 宏文（高知大学医学部附属病院泌尿器科）	南 秀朗（公立能登総合病院泌尿器科）
佐藤ゆずり（武蔵野赤十字病院）	宮元 一隆（鹿児島医療センター）
重村 克巳（神戸大学泌尿器科）	三輪聡太郎（金沢医療センター）
七条 武志（山梨赤十字病院）	向山 秀樹（沖縄南部徳洲会病院）
芝 政宏（市立堺病院）	山口 剛（杏林大学医学部附属病院）
島 敬之（国保旭中央病院）	山田 大介（千葉西総合病院）
白木 良一（藤田保健衛生大学医学部腎泌尿器外科）	山田 浩史（名古屋第二赤十字病院）
城武 卓（埼玉医科大学国際医療センター）	山本 健郎（昭和大学藤が丘病院）
秦 聡孝（大分大学医学部腎泌尿器外科学講座）	横田 成司（社会医療法人川島会川島病院）
千菊 敦士（京都大医学部泌尿器科学教室）	吉岡 徹（大阪警察病院）
全並 賢二（愛知医科大学）	吉川 元清（近畿大学医学部奈良病院）
高岡栄一郎（筑波大学附属病院腎泌尿器外科）	吉田 徹（京都市立病院泌尿器科）

2014 年度技術認定（泌尿器科領域）更新者

秋田 英俊（安城更正病院）	辻村 晃（順天堂大学医学部泌尿器科）
石浦 嘉之（富山労災病院）	長濱 寛二（静岡県立総合病院）
石塚 修（信州大学医学部泌尿器科学教室）	錦見 俊徳（名古屋第二赤十字病院泌尿器科）
石村 武志（神戸大学泌尿器科）	西田 剛（松原徳洲会病院）
梅本 幸裕（名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学分野）	野々村 祝夫（大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学（泌尿器科））
榎本 裕（三井記念病院泌尿器科）	羽鳥 基明（日高病院泌尿器科）
大山 信雄（独立行政法人地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター）	原 一正（熊本中央病院泌尿器科）
小倉 啓司（大津赤十字病院）	福森 知治（徳島大学病院泌尿器科）
垣本 健一（大阪府立成人病センター泌尿器科）	藤田 竜二（NHO 岡山医療センター）
加藤 昌生（広島市立安佐市民病院）	藤村 哲也（東京大学医学部付属病院泌尿器科）
久保田恵章（トヨタ記念病院泌尿器科）	堀口 明男（防衛医科大学校泌尿器科学講座）
甲田俊太郎（国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター）	前田幸志郎（健腎会おがわクリニック）
河野 真範（福井赤十字病院腎臓泌尿器科）	前田 雄司（公立松任石川中央病院）
小武家 誠（独立行政法人国立病院機構岩国医療センター）	三宅 秀明（神戸大学大学院医学研究科外科系講座腎泌尿器科学分野）
佐古 真一（岡山労災病院）	村上 佳秀（徳島市民病院泌尿器科）
島居 徹（筑波大学医学医療系茨城県地域臨床教育センター）	持田 淳一（日本大学医学部附属板橋病院泌尿器科）
清川 岳彦（京都市立病院）	望月 英樹（市立三次中央病院）
関戸 哲利（東邦大学医療センター大橋病院泌尿器科）	柳澤 良三（春日部中央総合病院）
瀬島 健裕（鳥取大学医学部器官制御外科系講座腎泌尿器科学分野）	山下真寿男（神鋼病院）
高尾 徹也（大阪府立急性期・総合医療センター泌尿器科）	山本 雅一（池上総合病院泌尿器科）
高田 徳容（手稲溪仁会病院泌尿器科）	龍治 修（済生会川口総合病院）
高山 仁志（市立堺病院泌尿器科）	渡辺 豊彦（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学）
竹原 俊幸（健腎会おがわクリニック）	渡井 至彦（名古屋第二赤十字病院移植外科）
津川 昌也（岡山市立市民病院）	

2014 年度技術認定（産科婦人科領域）合格者

青木 洋一（順天堂大学浦安病院産婦人科）	斎藤 元章（東京慈恵会医科大学附属病院）
足立 英文（JCHO 札幌北辰病院産婦人科）	篠崎 悠（富士重工業健康保険組合太田記念病院）
有馬 宏和（足利赤十字病院産婦人科）	澁谷 裕美（杏林大学医学部付属病院産婦人科学教室）
市川 義一（静岡赤十字病院産婦人科）	菅谷 健（済生会松阪総合病院）
大藏 尚文（国立病院機構小倉医療センター産婦人科）	杉本 到（北里大学北里研究所病院）
大沼 利通（福井赤十字病院）	高野みずき（倉敷成人病センター）
尾身 牧子（敬愛会中頭病院）	高橋 俊文（山形大学医学部附属病院）
金尾 祐之（倉敷成人病センター）	高橋 伸卓（静岡県立静岡がんセンター）
荻部 瑞穂（横浜総合病院）	竹内 麗子（浜の町病院）
北 正人（関西医科大学産科学婦人科学講座）	竹谷 俊明（山口大学医学部付属病院）
久野 敦（清慈会鈴木病院産婦人科）	橘 理香（名古屋市立東部医療センター）

筒井 建紀（独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院）
西尾 元宏（医療法人社団あんしん会四谷メディカルキューブ）
原田美由紀（東京大学医学部附属病院）
藤原 和子（倉敷成人病センター）
三木 明德（埼玉医科大学）
美濃部奈美子（横浜総合病院）

望月亜矢子（藤枝市立総合病院）
山本 善光（箕面市立病院）
渡邊 善（東北大学病院）
渡辺 孝紀（仙台市立病院産婦人科）
渡邊 豊治（済生会横浜市東部病院産婦人科）

2014 年度技術認定（産科婦人科領域）更新者

合阪 幸三（医療法人財団小畑会浜田病院）
荒金 太（熊本赤十字病院）
安藤 正明（倉敷成人病センター）
伊熊健一郎（医療法人篤静会谷川記念病院）
内出 一郎（医療法人社団内出医院）
大須賀 穰（東京大学産婦人科）
太田 啓明（倉敷成人病センター産科婦人科）
奥田喜代司（北摂総合病院）
菊地 盤（順天堂大学医学部附属浦安病院）
栗林 靖（杉山産婦人科丸の内）
黒田 恵司（順天堂大学産科婦人科学教室）
子安 保喜（四谷メディカルキューブウイメンズセンター）
佐々木 寛（東京慈恵会医科大学附属柏病院）
塩田 充（川崎医科大学附属病院産婦人科）
渋谷 伸一（聖隷浜松病院）
谷村 悟（富山県立中央病院）
土屋 雄彦（東邦大学医療センター大森病院）
堤 治（医療法人財団順和会山王病院）

徳嶺 辰彦（社会医療法人敬愛会中頭病院）
中熊 正仁（上尾中央総合病院）
中村 元一（福岡山王病院）
林 博（恵愛病院生殖医療センター）
平野 浩紀（高知赤十字病院）
福井 淳史（弘前大学医学部附属病院）
藤下 晃（済生会長崎病院産婦人科）
舟本 寛（富山県立中央病院産婦人科）
干場 勉（石川県立中央病院産婦人科）
前川 正彦（徳島県立中央病院）
田嶋 公久（福井赤十字病院）
村上 節（滋賀医科大学産科学婦人科学講座）
森田 峰人（東邦大学医療センター大森病院産婦人科）
山田 隆司（大阪医科大学病理学教室）
山本 和重（岐阜市民病院）
山本 泰弘（東邦大学医療センター大橋病院産婦人科）
横井 猛（市立貝塚病院）

2014 年度技術認定（整形外科領域）合格者

船戸 貴宏（帝京大学医学部溝口病院整形外科）

2015 年 1 月 15 日

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2014 年度（自 2013 年 10 月 1 日 至 2014 年 9 月 30 日）第 1 回社員総会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

- ☐開催日時 2014 年 10 月 2 日（木）17：20～18：30
- ☐開催場所 マリオス 盛岡地域交流センター 大ホール
- ☐理事総数 20 名
- ☐監事総数 4 名
- ☐出席理事数 20 名
- ☐出席監事数 4 名
- ☐出席理事の氏名

北野正剛，岩崎昭憲，岩中 督，大貫恭正，小澤壯治，黒川良望，坂井義治，塩田 充，
出沢 明，堤 治，寺地敏郎，徳村弘実，橋爪 誠，万代恭嗣，松田公志，森 俊幸，
森川利昭，山下裕一，若林 剛，渡邊昌彦

- ☐出席監事の氏名
大橋秀一，木村泰三，馬場志郎，松本純夫

- ☐議長の氏名
若林 剛

- ☐議事の経過の要領及びその結果
以下の通りである。

＊

定刻に至り若林剛会長は議長席につき総会の開催を宣した。

続いて議長は，議事に入った。議事の経過の要領及びその結果については，前日に行われた
理事会における報告事項及び審議事項における内容が変更・修正なく承認されたので，理事会
議事録において各々対応する事項の記載をもって，省略する。

議事の最後に，以下の特別会員の推戴状授与式が行われた。

＜特別会員＞

加勢田 静	国立病院機構神奈川病院
深谷 孝夫	高知大学医学部医学科 産科婦人科学講座
長谷川 洋	名古屋第二赤十字病院 外科
東野 正幸	谷川記念病院 消化器外科
清水 一雄	日本医科大学 外科（内分泌・心臓血管・呼吸器部門）

以上，社員総会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために，議事録を作成し議

長がこれに記名押印する.

(以下略)

以上